

株主・投資家等との対話

1. 基本方針

当社は、当社の長期的で持続的な成長の実現を求める株主・機関投資家からの面談の申し入れに対して、面談の目的及び内容の重要性、面談希望者の属性等を考慮して対応方法を検討し、建設的な対話の促進に努めております。

IR活動で得られた株主・投資家からの意見や質疑応答内容等については、当社経営に資すると判断されるものはすべて取締役会や経営陣幹部が参加する定例会議において、フィードバックを適切に実施しております。

また、海外投資家等にとって必要と考えられる情報について、英語での開示を進めております。

2. 2023年度のIR活動

活動	実施回数	当社対応者
決算説明会 (アナリスト・機関投資家対象)	2回	社長 コーポレート本部役員
国内投資家等との面談	30回	担当執行役員 IR担当者
海外投資家等との面談	30回	担当執行役員 IR担当者
証券アナリストとの決算ミーティング	16回	担当執行役員 IR担当者

3. 対話の主なテーマ

(1) 業績関連

- ・建設業の事業環境
- ・受注時採算
- ・資材価格高騰の影響と対応
- ・工事採算悪化の原因、今後の見通し
- ・時間外労働上限規制への対応

(2) 中期経営計画

- ・計画値達成の見通し
- ・投資計画と資本配分
- ・重点管理事業（新本社ビル、浮体式洋上風力発電、海外事業）

- (3) 資本政策
 - ・株主還元（配当、自己株式取得）
 - ・政策保有株式の縮減目標
- (4) ESG 関連
 - ・CO2 排出量の削減
 - ・女性管理職比率
 - ・「働き甲斐改革」について
 - ・人権問題への取り組み
- (5) その他
 - ・買収防衛策

以上